

七生養護学校の

「こころとからだの学習」は、
一人ひとりを大切にする学習でした

5月12日 教師・保護者28人が裁判をおこす

人形を返してください

子どもたちは人形が大好きでした

人形が登場すると、目を輝かせます

人形を抱くと、やさしい表情になります

あったかな気持ちになり、大事に大事に抱いていました

子どもたちから人形を奪わないでください

「からだ歌」を返してください

子どもたちは「からだ歌」が大好きでした

心地よいリズムの中

先生と気持ちを通わせながら

あたま、くび、かた・・・と

からだの部位を覚え

自分のからだを実感し、大切にすることを育みます

子どもたちから、「からだ歌」を奪わないでください

すべての教材を返してください

分かりやすく工夫された手作り教材

子どもの一言から生まれた教材

試行錯誤の繰り返しから作り出された教材

どれも、私たちの宝物

私たちから教材を

奪わないでください

何故なのですか？

子どもたちの

親たちの

教師たちの思いを聞くこともせず

実際の学習場面を見ることもせず

「不適切な教育」「行き過ぎ教育」

と言い切ってしまうのは？

何故なのですか？

まるで犯人扱いの「聞き取り調査」

人形の下半身を裸にし

教師を恫喝

やくざまがいの脅し

子どもの見ている前で出来事でした

翌日の新聞には「まるでアタルトショップのよう」の文字が躍る

あなたたちは、暴力で私たちを踏みしめた

私たちは、私たちの目の前で起こった全てを

真実を、伝えていく決意をしました

教育は子どものためにあるべきと思うから

教育に自由を取り戻したいと思うから

指示、命令、処分で

言いなりにさせようとする

東京の教育のあり方に異議を唱えるために

これは、5月12日の提訴の日に読み上げられた詩です。この詩に原告の思いが詰まっています。



第1回目の審理に支援の方々の傍聴を！

■内容 訴状・原告本人の陳述、答弁書の陳述など

日時 2005年8月24日(水) 13:00~14:30

■12:30までに傍聴券の抽選があるかもしれません。

■裁判終了後、隣の弁護士会館で報告集会があります。

場所 東京地方裁判所<地下鉄「霞ヶ関」下車>

※被告側の傍聴動員も予想されます。詳しいことは「支援全国連」(4頁)に、後日お問い合わせください。